

開設科目名	データテラシー基礎	科目コード	BSNLH126	開設期	1年後期
単位数(履修区分)	1単位(必修)	時間数	15時間	授業区分	講義・演習
責任者	堤 千代	担当者	堤 千代 井手悠一郎 室谷健太		
授業の概要(授業の目的)					
政府統計や保健、医療、福祉に関するデータを調べ、その特徴を読み解くための統計学の基礎知識と数理的背景について学ぶ。コンピュータを使ってデータを集計・可視化し、その特徴を他者に説明できる力を身につける。					
学修の到達目標			ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連		
1. データを数学的にとらえる思考を身につけ、看護におけるデータ活用について説明できる。			医療の基礎		
2. 政府統計の概要を知り、統計から得られる情報を論理的に説明できる。					
3. パソコンを用いて要約統計量を計算し、データを可視化できる。					
授業計画(授業内容・方法・予習復習内容とその取り組み時間等)					
回	授業内容	方法	担当者	予習・復習(学習課題)	取組時間
1	看護におけるデータのとらえ方と数理 —AIと確率・統計(J-MOOCコンテンツ)	講義・演習 (面接)	堤 井手悠	予習: Excelで演算子による計算方法を確認しておく 復習: webclass小テスト、死亡率の計算1	4時間
2	統計の基礎 —確率	講義 (面接)	室谷	復習: webclass小テスト	4時間
3	統計の基礎 —データの記述	講義 (面接)	室谷	復習: webclass小テスト	4時間
4	人口統計と保健統計調査 —死亡率の計算	講義・演習 (面接)	堤 井手悠	予習: インターネットでe-statにアクセスしてみる 復習: webclass小テスト、死亡率の計算2	4時間
5	尺度の理解とデータの分布 —データを用いた度数分布表とヒストグラム	講義・演習 (面接)	堤 井手悠	予習: テキストP6~13を読んでおく 復習: webclass小テスト、ヒストグラムの作成	4時間
6	連続データの要約統計量 —集団特性の記述と留意点	講義・演習 (面接)	堤 井手悠	予習: テキストP14~23を読んでおく 復習: webclass小テスト、要約統計量の計算	4時間
7	連関と相関 —2変量の関係による分析方法	講義・演習 (面接)	堤 井手悠	予習: テキストP106~113を読んでおく 復習: webclass小テスト、クロス集計表作成	4時間
8	標本調査と区間推定 —推測統計の考え方	講義・演習 (面接)	堤 井手悠	予習: テキストP76~83を読んでおく 復習: webclass小テスト、信頼区間の計算	4時間
成績評価方法・基準	筆記試験100%、Excel課題提出未提出は減点(評価者:堤)				
課題に対するフィードバック	課題の模範解答は授業中に解説する。筆記試験の解説は再試験終了後にwebで公開する。				
教科書	豊田修一他著『やさしい統計処理』実教出版				
参考書・参考文献	柳川堯他著『新 看護・リハビリ・福祉のための統計学』 三井正著『JMPではじめるデータサイエンス』				
ワイアー 学習相談 メッセージ その他	<p>本科目は、society5.0に向けた『データヘルスサイエンス入門プログラム』の一部です。society5.0に向け、全ての大学生が身に着けるべきデータ活用のための知識と技術を中心に展開します。疫学Ⅰ・データテラシー基礎(1年次) データテラシー演習(2年次)、データ分析応用基礎(3年次)、疫学Ⅱ・保健統計学(4年次)と、段階的にデータ思考を学ぶプログラムの基礎となる科目です。次年度以降、当該選択科目は積極的に履修してください。</p> <p>本科目は、看護師課程・保健師課程の両方の教育内容を含みます。</p> <p>演習のある授業はパソコン室で、ABクラス分かれて行きます。データを保存するためのUSBメモリをご持参ください。</p> <p>Microsoft Excelを使った課題があります。自宅でもExcelを使える環境が望ましいです。パソコンスキルに自信がない方は、課外でサポートクラスを実施しますので、参加してください。</p> <p>私の研究分野は、看護におけるバイオ統計学の応用です。授業全般で、これまでの調査研究で用いた手法を紹介します。</p> <p>堤 千代(2号館1F 220研究室) オフィスアワー: 火曜 12:10~13:10 tsutsumi@stmaryacjp.onmicrosoft.com 各回の質問は科目責任者: 堤が窓口になりますので、遠慮なくご相談ください。堤が担当する授業では、毎回終了後にチャットによる感想や質問を求めます。自由にコメントしてください。</p>				